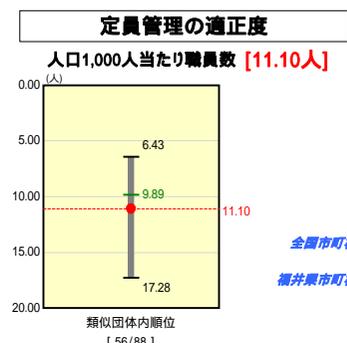
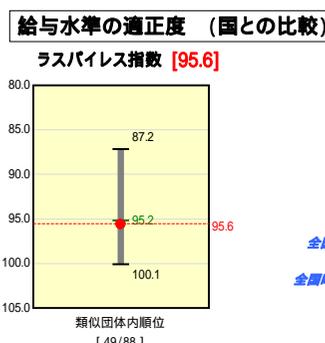
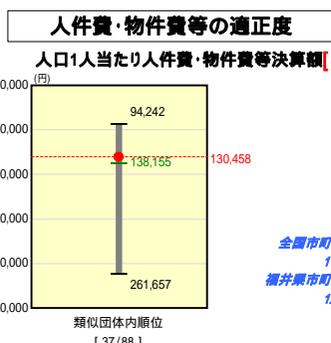
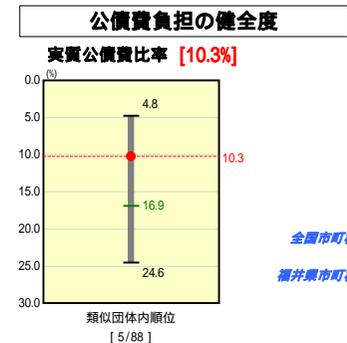
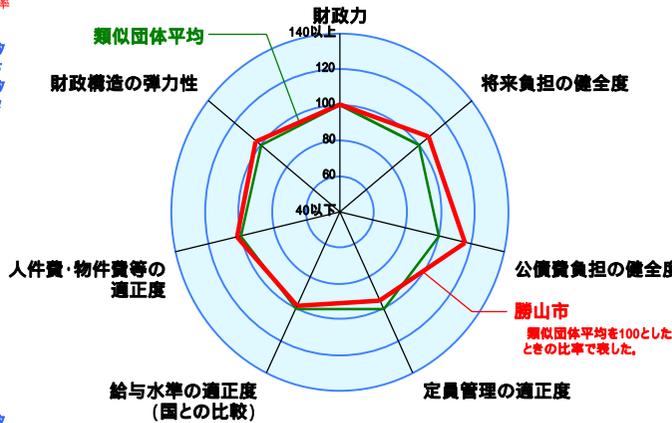
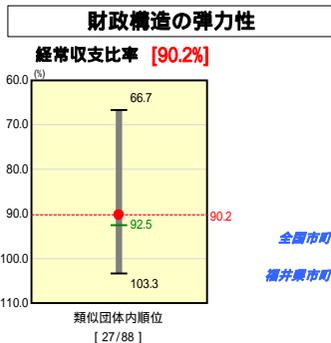
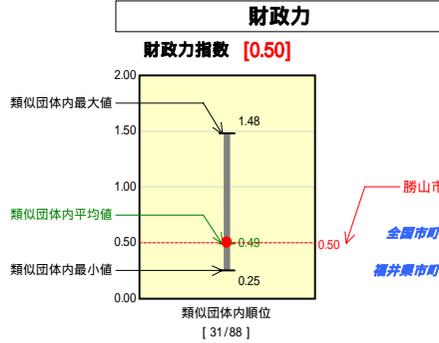


市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福井県 勝山市

人口	26,762	人(H20.3.31現在)
面積	253.68	km ²
歳入総額	11,477,254	千円
歳出総額	11,252,773	千円
実質収支	174,552	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析概

財政力指数
3ヶ年平均では、0.01ポイントの増となった。これは、3ヶ年平均の対象となる年度が全て税源移譲後の年度になったためであり、実質的な財政力の改善とは言えない。単年度で比較()すると法人税割などの大幅な減により0.04ポイントの減となっている。今後は、財政力の改善のため平成18年度に策定した滞納整理マニュアルに基づき、統一した滞納整理を行い歳入確保に努める。

経常収支比率
大野・勝山広域行政事務組合で ~ につけ借入れた廃棄物処理施設建設事業の元金償還が順次開始され大幅な増額、除雪関係等で増額及び公債費においても増額となったが、経常人件費・物件費に充当することのできる特定財源が大幅に増額、償還ピークを過ぎている下水道事業特別会計への繰出金が大幅に減額となったため総額は前年度とほぼ同額となり0.1ポイントの微増に留まった。

人口1人当たり人件費・物件費等決算額
人件費において、3ヶ年の選挙事務に係る人件費と早期勤労退職者に係る退職手当組合負担金が大幅に増額となったため、前年度と比較して97円の増額となったが、早期勤労退職者分については不補充としているため、今後人件費削減が見込まれる。

ラスパイレス指数
類似団体の平均とほぼ同率となっている。今後とも国に準じた適正な給与体系を維持していく。

人口1人当たり地方債現在高
近年、臨時財政対策債の借入れにより地方債残高は増加傾向にあったが、大型事業が少なかったため前年度に引き続き前年度を下回ることができた。今後は、人口減少等により人口1人当たり地方債残高は増えることが予想されるが、公債費負担の軽減を図るため、交付税措置のある地方債や低金利の地方債へシフトすることを基本方針とし、財政の健全化に努める。

実質公債費比率
下水道事業特別会計に対する単元利償還金が大幅に減額となったこと、普通交付税が滞る地方応援Pの創設等により大幅に増額となったため改善が見られた。しかし、今後は、大野・勝山広域行政事務組合で ~ につけ借入れた廃棄物処理施設建設事業特別償還ピークと一般会計の償還ピークが2年に重なるため悪化が見込まれる。その為、 ~ 末には公的資金補償金免除繰上償還を行い、今後7年間で全会計で約316百万円の利払いの軽減を図った。

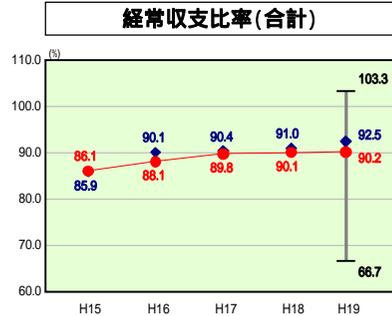
人口1人当たり職員数
類似団体の平均を上回っているが、平成16年度に策定した行政改革大綱ならびに平成17年度策定した集中改革プランに沿って、10ヶ年で職員数を52人、人件費総額を15%削減する。なお、当市では消防業務を共同処理せず、市単独で行っていることから、消防職員37人(1,000人当たり)136人が普通会計に計上されている。

なお、 ~ からの人件費削減の実績は、 ~ 当初現在で職員数 35人、達成率67.3%、人件費総額 290百万円、達成率77.8%となっている。

歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福井県 勝山市

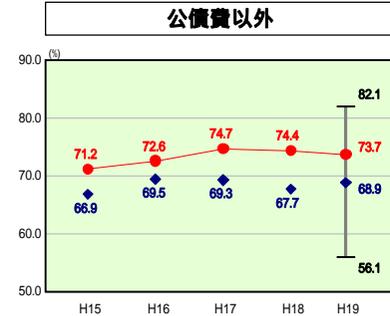
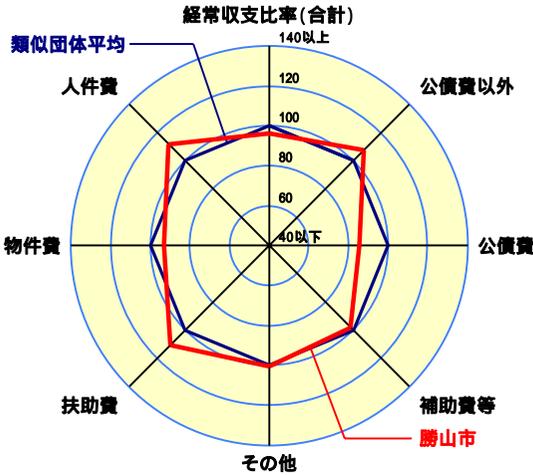
経常収支比率の分析



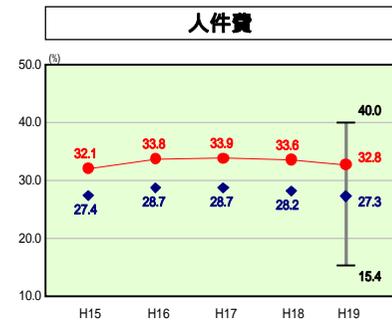
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 T
類似団体内最小値 L

人口	26,762人(H20.3.31現在)
面積	253.68 km ²
歳入総額	11,477,254千円
歳出総額	11,252,773千円
実質収支	174,552千円

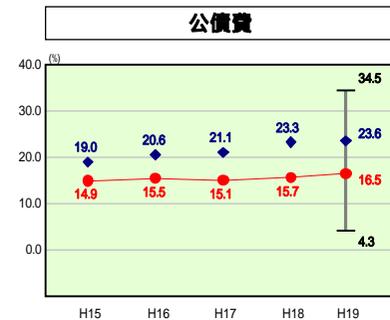
H19類似団体内順位 27/88
全国市町村平均 92.0
福井県市町村平均 80.5



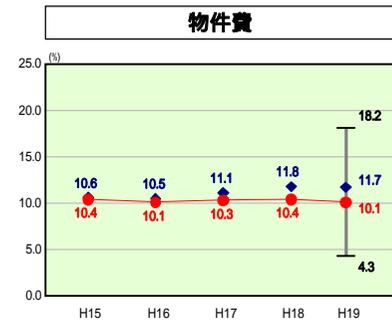
H19類似団体内順位 66/88
全国市町村平均 71.7
福井県市町村平均 72.4



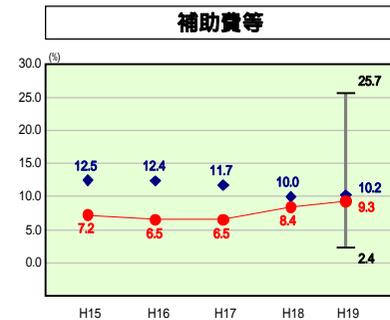
H19類似団体内順位 75/88
全国市町村平均 28.0
福井県市町村平均 26.7



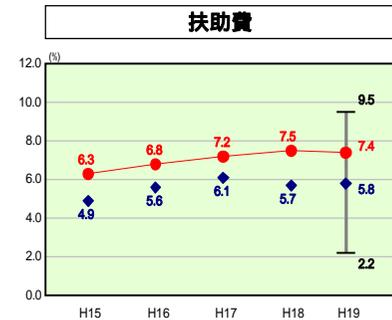
H19類似団体内順位 9/88
全国市町村平均 20.3
福井県市町村平均 17.1



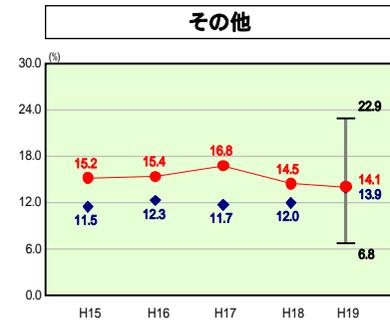
H19類似団体内順位 25/88
全国市町村平均 13.1
福井県市町村平均 14.0



H19類似団体内順位 37/88
全国市町村平均 10.4
福井県市町村平均 13.7



H19類似団体内順位 73/88
全国市町村平均 8.8
福井県市町村平均 6.6



H19類似団体内順位 56/88
全国市町村平均 11.4
福井県市町村平均 11.4

1. 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
2. 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
3. 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄

人件費
類似団体の平均と比較すると、5.5%高くなっている。主な原因は、当市では消防業務を共同処理せず、市単独で行っていることから、消防職員37人分の人件費241百万円(3.5%相当)が普通会計に計上されていることが考えられる。当市では、平成16年2月に策定した行財政改革大綱並びに平成17年度策定した集中改革プランに沿って、10ヶ年で職員数を52人、人件費総額を15%削減することとしており、今後も人件費削減に努める。

公債費
平成15年度までは、ほぼ類似団体の平均であったが、平成16年2月に策定した行財政改革大綱に沿って、事務事業の見直しを行ってきた結果、平成16年度以降歳出削減効果が現れてきている。

扶助費
高齢化が年々進んでいるに加え、生活保護世帯の増加等により年々高くなってきている。今後は、特定健診、がん検診等の受診率を向上させ扶助費の軽減に努める。
(高齢化率 26.18% 26.60% 27.05% 27.72% 県下9市中1位)

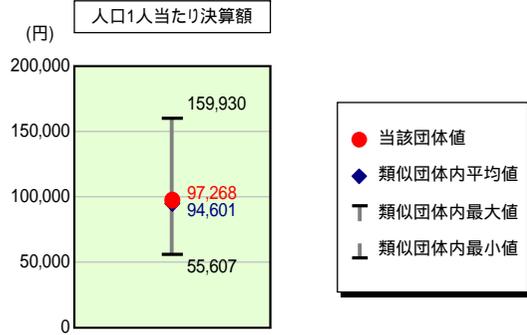
公債費以外
公債費負担の軽減を図るため、交付税措置のある地方債や低金利の地方債へシフトすることを基本方針とし、普通会計債においては、地方債残高が前年度末を上回らないよう、年度中元金償還額以上の地方債発行を行わないこととしているため、類似団体の平均を大きく下回っている。

補助費等
平成16年度までは類似団体の平均を大きく下回っていたが、平成17年度以降、広域行政事務組合において借入れた廃棄物処理施設建設事業債の償還等の繰出金が増加し、平成19年度においては、ほぼ平均となった。今後は、地方債の償還額の増加(H21ピーク)に加え、一般廃棄物処理施設のランニングコストの増加により、更に高くなることが見込まれる。
今後は、各種補助金等の費用対効果を検証し、不適当な補助金等は見直しや廃止を行う方針である。

歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福井県 勝山市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

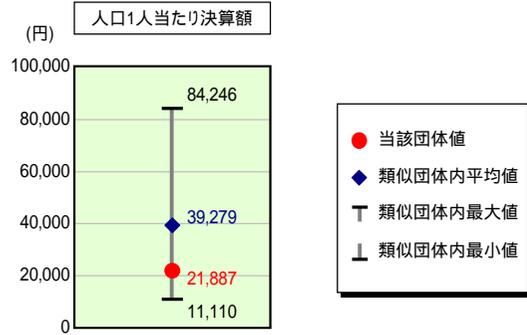
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	2,423,908	90,573	87,999	2.9
賃金(物件費)	177,052	6,616	4,997	32.4
一部事務組合負担金(補助費等)	85,813	3,207	6,737	52.4
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	1,224	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	116,394	4,349	3,103	40.2
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	25,816	965	1,966	50.9
退職金	225,887	8,441	11,425	26.1
合計	2,603,096	97,268	94,601	2.8

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	11.10	9.89	1.21
ラスパイレース指数	95.6	95.2	0.4

ラスパイレース指数及び職員数に係る項目については、平成19年地方公務員給与実態調査に基づくものである(以降の項目について同じ。)。なお、平成19年度中に市町村合併を行った団体については、当該項目を「-」としている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

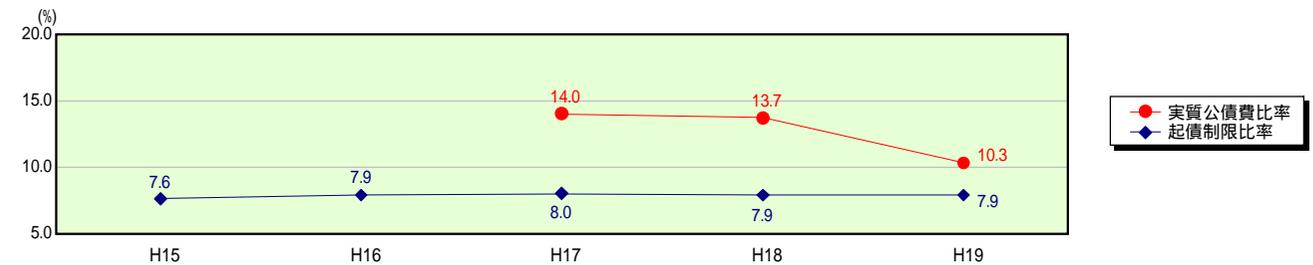


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	973,262	36,367	63,164	42.4
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	22	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	582,302	21,759	19,567	11.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	34,690	1,296	5,291	75.5
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	-	-	2,357	-
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利息は除く)	122	5	22	77.3
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	1,004,631	37,539	51,144	26.6
合計	585,745	21,887	39,279	44.3

平成20年4月1日以降の市町村合併により消滅した団体で実質公債費比率を算定していない団体については、「-」としている(以降の項目について同じ。)

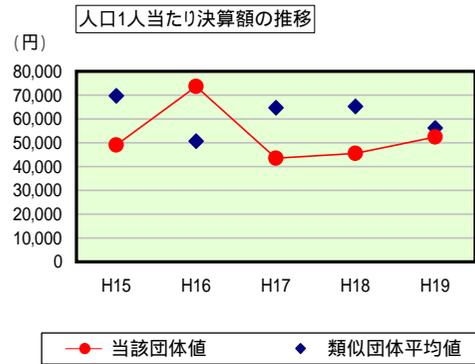
参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成19年度普通会計決算)

福井県 勝山市

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H15	1,366,441	48,990	40.9	69,664	20.4	20.5
うち単独分	700,066	25,099	33.2	45,186	23.7	9.5
H16	2,033,269	73,683	50.4	50,649	27.3	77.7
うち単独分	1,155,350	41,868	66.8	29,950	33.7	100.5
H17	1,192,854	43,522	40.9	64,690	27.7	68.6
うち単独分	522,150	19,051	54.5	39,427	31.6	86.1
H18	1,236,125	45,538	4.6	65,235	0.8	3.8
うち単独分	591,802	21,802	14.4	35,265	10.6	25.0
H19	1,403,028	52,426	15.1	56,233	13.8	28.9
うち単独分	641,376	23,966	9.9	32,240	8.6	18.5
過去5年間平均	1,446,343	52,832	2.3	61,294	6.6	4.3
うち単独分	722,149	26,357	0.7	36,414	9.0	9.7